

市町村座談会（1月12日現在 13/15市町村で実施）において得られた主な地域の共通課題

【共通課題】

ロボット

- 遠隔操作ロボット・ドローンの操作の困難さ
- 複雑な作業工程の自動化、AI技術の活用
- 施設の工事やメンテナンスのドローン活用
- 人手不足を補う省力化・デジタル化

農林水産業

- 農業の担い手の高齢化・後継者不足
- 機械・器具、肥料・資材価格の高騰
- 選別工程、出荷工程、水管理等の省力化・自動化
- 農業経営の赤字体質からの脱却
- 小規模農家向けのロボットやシステム
- 農業従事者の暑さ対策
- 遊休農地の解消・早期の営農再開

エネルギー

- エネルギー価格の高騰
- 水素エネルギーのコスト高
- 2050年までのカーボンニュートラルの実現
- 新エネルギーのビジネス環境やインフラ整備、関係法令の整備

【F-REI】で取り組む課題解決の方針

- 過酷環境下で使用できるロボット・ドローンの研究開発
- インフラ設備の点検・整備における最先端のロボット・ドローン技術の活用拡大・技術の高度化
- 知能化・自律化技術の研究開発

人手不足の解消へ

- スマート農業機械・技術の研究開発
(水稲栽培の完全自動化等)
- 施設園芸技術の高度化・省力化
- 果樹栽培作業の省力化・スマート化、販路拡大
- 林業作業の省力化・自動機械技術の開発 等

儲かる農林業へ

- ネガティブエミッション技術の研究開発
- CO2キャプチャー技術の研究開発
- 水素エネルギーの製造・貯蔵・運搬・利活用システムの開発

サステナブルな社会の実現へ

協議会における意見交換テーマについて②

【共通課題】

まちづくり・地域づくり

- F-REI研究者・職員の地域への定住、地域住民との交流
- 交流人口の増加、帰還、移住等定住人口の増加
- 住宅、教育、医療、交通等の生活環境の充実
- 多言語対応をはじめとする外国人向けサービスの充実

産業化

- 実装化や新しい産業につながる研究
- ベンチャー企業の育成
- イノベーションの創出とスタートアップの育成
- 福島浜通りにおける起業成功モデルの確立

教育

- STEAM教育の推進
- 子供たちを科学技術に誘う教育
- 理系女子が育つ教育
- 小中高等学校における国際バカロレア教育プログラムの導入
- 浜通り地域における高等学校及び高等教育機関の充実

【F-REI】で取り組む課題解決の方針

- ・ F-REI本施設内に展示スペースをはじめとする住民との交流スペースの設置
- ・ F-REI研究者・職員の地域コミュニティへの積極的な参画
- ・ 周辺環境整備のための関係機関への積極的な働きかけ

「創造的復興」の先進的モデルへ

- ・ F-REI産学官ネットワークセミナー等の研究者と地元企業、産業界との交流イベントの積極的な開催
- ・ 産業化・社会実装を見据えた研究開発の実施
- ・ 企業間のマッチングの場の提供
- ・ 企業の専門人材の積極的な育成

機構発ベンチャー等、研究開発成果の産業化への挑戦

- ・ 親子科学体験教室等、小学生向けイベントの定期的開催
- ・ 研究者を講師とした中高生向け出前授業、高専生・大学生向けトップセミナーの展開
- ・ サマースクール等F-REIの研究が体験できる育成事業の展開
- ・ 周辺市町村の外国語教育充実への積極的な働きかけ

地元出身者をF-REI研究者に育成

協議会における意見交換テーマについて③

広域連携WGにおいて提起された主な課題

広域連携WG 令和5年9月27日 開催
座長：F-REI 副座長：福島県
構成員：復興庁、浜通り地域等15市町村、イノベ機構

【課題】

- F-REIとの連携に興味を示す企業がアクセスできる窓口が必要
- F-REIの個別の業務ごとの問い合わせ先がわからない
- 地域の企業からF-REIとの連携について相談があり、F-REIにしっかりとつなぎたい



【対応】

- 業務別に区分したF-REI問い合わせ・相談窓口一覧を作成し、広域連携WG構成員に送付
【区分】
 - 1 研究開発に関すること
 - 2 産業化に関すること
 - 3 人材育成に関すること
 - 4 市町村座談会、法定協議会、広域連携に関すること
 - 5 その他（県、イノベ機構を含む）
- イノベ機構と連携し、F-REIとの連携に興味を示す企業等との仲介・調整を実施



- 企業、学校、行政がF-REIとどう連携できるのか情報が伝わっていない
- F-REIの認知度が低いため、継続的な認知度向上の取組が必要
- 住民のF-REIへの関心が高く、住民にわかりやすく伝えられるよう、継続的な情報発信が必要

- 広報体制の強化（県、イノベ機構等と協力して実施）
 - ・ F-REIの取組状況を伝えるメールマガジンを毎月配信
 - ・ SNS（X、Facebook）を活用した情報発信の強化
 - ・ 報道関係者を対象とした「F-REI広報ネットワーク」メールの希望市町村等への発信
 - ・ 県主催の産業展示会や地域イベント等での積極的なブース出展
 - ・ ノベルティ（ボールペン、ティッシュ）の作成と地域イベント等での配布
 - ・ 福島県の県政広報媒体（テレビ・ラジオ・新聞・県広報誌・SNS）でのF-REI特集・イベント発信
 - ・ 県有施設等におけるポスター掲示等